

令和5年度茅ヶ崎市環境審議会 第1回自然環境分科会（WEB会議）会議要旨

日 時： 令和5年8月9日（水）10時から11時30分まで
場 所： 茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室3（市役所での参加、傍聴場所）
出席委員： 鈴木由美子委員、篠田委員、田中委員
（WEB会議により出席）園原委員、藤吉委員、山口委員
欠席委員： なし
出席職員： 【環境政策課】柳下課長、森課長補佐、木村主査
【景観みどり課】戸井田課長補佐

1 分科会長、副分科会長の選出について

→分科会長に園原委員を選出した。また、副分科会長に田中委員を選出した。

2 茅ヶ崎市環境基本計画年次報告書（令和5年度版）の評価について

政策目標5（施策⑳～㉓）について、各委員の意見を事前にまとめた資料を用いながら評価を行った。

→主な意見等は次のとおり。（○＝委員、■＝市）

【政策目標5】環境に配慮した行動を実践するまち

施策⑳ 学校における環境教育の充実

- 評価できる点として、出前授業の件数の増加、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」のアクセス数の増加が挙げられている。
- 学校での学びがきっかけで、子どもの環境への関心が向上すれば、家庭内で大人にも波及するので、学校での取り組みが充実しているところは非常に良い。
- 学校の環境教育を充実させるには、教員の支援が重要であることから、学校の先生方が情報共有できるような取り組みについても評価されている。
- 出前授業の実施件数も「ちがさきエコスクール」のアクセス数も、目標値を上回り増加しているが、これには何か理由があるのか。
- （事務局）「ちがさきエコスクール」では、市内の小中学校の取り組みを発信していて、年度当初に各学校に積極的に活用していただけるようにPRしている。出前授業は基本的に、学校からの依頼で実施しているが、カリキュラム的には小学4年生で環境の学習をするようで、そうしたタイミングで、他校での出前授業の実績を耳にされた先生から相談を受けることもあり、口コミで広がってきているような印象もある。
- 数値の上昇が、市の積極的な広報活動によるものであれば、取り組みを継続すれば、今後数値が増加することが考えられるが、今後、数値目標を変更する可能性はあるのか。
- （事務局）大幅に目標をクリアしているものについては、それで満足するというわけではなく、柔軟に対応していきたい。
- 今後検討すべき課題としては、学校の環境学習をきっかけに興味を持った子どもが、学校の枠を超えて学べる場があるとよいのではないかという提案や、受け身の学習だけでなく、より深い学びや、自主的な行動につなげていくような仕組みが必要ではないかという意見があった。
- また、学校での環境教育を充実させるためには、先生方の負担にならないように、そして先

生方のニーズをうまく汲み取ったうえで、情報提供や環境学習について学ぶ機会を提供するなどの支援が必要ではないかという意見も出ている。

- 学校は、環境学習のきっかけづくりとして、大きな役割を担っているが、そこからステップアップして、実際に茅ヶ崎の自然環境のなかでアクションを起こせるような場があったりすると茅ヶ崎独特の取り組みになって面白い。難しい部分もあるが、市としても工夫していただきたい。

施策② 地域における環境学習機会の拡充

- 評価できる点として、コロナ禍の影響がまだあったなかで、オンライン講座や動画配信など、工夫しながら環境学習の機会を作ったことが挙げられている。
- 同時に、少しずつ対面での講座や観察会が再開されており、これも良かった点である。
- また、そうした学習の機会を市民に広く周知していることを評価する意見も出ている。
- 今後検討すべき課題としては、新たにできた博物館との密な連携を目指してほしいという意見が出ている。博物館は自然の知識などが集約されており、環境学習の拠点になり得る場所だと考えられるので、ぜひ連携していただきたい。
- より多くの市民が環境学習に参加するには、興味はあるけれど自分で積極的に情報収集するまでには至らない層を取り込むことが重要で、「ちょっとやってみようか」と思わせるような周知の工夫が必要なのではないかという意見や、地域住民、自治体などの積極的な参画を進めるために、まちづくり協議会の活用や、地元企業の取り組みのサポート、環境フェアでの周知などのアプローチがあってもよいのではないかという意見も出ている。
- オンライン講座の開催は評価できる点ではあるが、一方で、受け方を知らない人のために、支援が必要なのではないかという意見もある。
- 地域清掃・ボランティア清掃参加人数の減少を指摘する意見が複数出ている。数値目標が設定されている指標なので、増加に向けた取り組みはお願いしたいところである。
- 博物館との連携については、現時点で予定していることはあるのか。
- （事務局）現時点で具体的な予定はないが、今後、連携できそうな企画や事業がないか検討したい。
- 自然環境庁内会議のメンバーに博物館は入っているのか。
- （事務局）博物館は自然環境庁内会議のメンバーには入っていないが、必要に応じて会議に参加することは可能である。
- （景観みどり課）自然環境庁内会議では、主に公共工事における工事区域において、貴重な動植物がいるかないか、工事にあたって移植が必要な植物はないかなどの情報交換を行っている。啓発事業やイベントでの博物館の連携については、必要に応じて連携体制を組んで取り組んでいくこととなる。市の博物館は民俗と歴史と自然をテーマにしているのので、自然環境の部分において連携を密にして、今後順次取り組んでいきたいと考えている。
- 新しい課題ということで博物館との連携について提案させていただき、その他の意見もまとめて、今後検討すべき課題としたい。

施策③ 庁内の環境意識の向上

- 評価できる点としては、C-EMSの外部監査で適切に運用されていると判定されたことや、全体的な取り組みとして職員の環境意識の向上に努めていることが挙げられた。
- 環境意識の向上につながる取り組みとして、表彰制度について評価する意見も上がっている。
- 庁内会議を端緒としたミティゲーションの実施など、職員の主体的な行動も見受けられ、順調に取り組みが進んでいると考えられる。
- 検討すべき課題としては、基本的には順調に進んでいるという前提で、いろいろな意見が挙がっている。

- 例えば、年度ごとに重点課題を設けてはどうかとか、近隣市の活動例を参考にして、茅ヶ崎市の独自性を加味した活動を推進してはどうかとの提案があった。
- 庁内の取り組みや成果を市民にもっと公表してはどうかとか、職員の生の声を紹介したらよいのではという意見もある。
- 施策指標について、市有施設におけるエネルギーの消費量が増加傾向にあることを指摘する意見もあった。
- ミティゲーションの実施を評価する一方で、その後のモニタリングの必要性が意識として共有できているのか懸念を示す意見もある。
- 市有施設におけるエネルギーの消費量は、施策⑰「公共施設の省エネルギーの推進」の施策指標ともなっている。施策⑰の成果と課題では、ハード面での省エネ対策が進んでいるが、それが大体終わった後は職員の意識改革が必要ということが書いてある。一人一人の省エネ意識の向上で、何とか数値を下げていくというところだと思う。
- 近隣市の事例を知る機会というのは、具体的に何かあるのか。
 - （事務局）藤沢、寒川、茅ヶ崎の2市1町で、湘南エコウェーブとして事業を実施したりしている。また、寒川町とは共同で気候非常事態宣言をした経緯もあり、藤沢市、寒川町とは連携を密にして情報共有ができています。
- 湘南エコウェーブは自分も関わっており、近隣市での連携がしっかりなされている取り組みだと感じている。引き続き情報共有をしていただきたい。

施策⑳ 環境に配慮した活動への支援

- 評価できる点として、様々なかたちでの支援が行われていることを挙げている意見が複数ある。
- コロナ禍の影響があっても、環境活動や養成講座を実施したことを評価する意見もある。特に養成講座については、定員に対する参加者の割合の6割を超えていて、実績としても十分評価できるとの意見が出ている。
- 市が募集しているエコ事業者が新たに6社増加したことや、エコ事業者の取り組みを紹介したことを評価する意見もある。事業者に対する取り組みの成果が出ているように感じられる。
- 検討すべき課題としては、コロナ禍が少しずつ終わっていく中で、参加者をどう確保していくかということが挙がっている。
- 参加者確保のためには、やはり活動の周知が重要になると思うが、周知の仕方については、SNSが苦手な方たちにも情報を届けるために、回覧板を活用してはどうかという提案がある。
- また、市民団体の活動への支援をしっかりとっていただきたいという意見があり、緑のまちづくり基金を活用したり、事業者に参画してもらって支援を受けられないかというような提案がされている。
- 市民団体への支援に関しては、支援を受けた団体が、支援を受けてどうだったかという声が聞きたいという意見があった。一方通行ではなく、双方向のやりとりがあるとよいという考えだと思う。
 - （景観みどり課）緑のまちづくり基金は、使い道が限定されている基金で、基本的には、緑地の購入、新たに設置する緑地の整備、自然環境評価調査等の緑地の調査業務の3点に、使い道が絞られているので、御承知おきいただきたい。
- 緑のまちづくり基金とは別の制度で、市民団体を資金面でサポートするものはあるか。
 - （景観みどり課）以前はあったが、全庁的に補助金を見直したこともあり現状ではない。団体への支援は、我々職員が一緒に手を動かすといったマンパワーでの支援が中心となっている。

- 予算の制約があるので、資金面の支援は難しいと思うが、マンパワー的な支援もやはり重要だと思うので、継続して実施してほしい。
- 市民団体の活動を活性化するには、人的な支援と、金銭的な支援が必要だと思う。事業者による支援というのはされているのか。
- （景観みどり課）市民団体と市内の事業者と一緒に保全活動をしている場所がいくつかある。企業の支援も、一緒に手を動かすとか、用具を提供するという支援が中心である。また、市民団体と大学と我々の3者で保全活動を行っている場所もある。令和4年度の実績においては、森林環境譲与税を使って、道具の提供を行うという支援も実施できた。
- できるだけ多くの事業者との連携が、今後進んでいけばよい。
- 企業としても、企業の社会的責任という観点で、自然環境の保全に関わるメリットがあると思うので、うまくマッチングができるとよい。

施策②⑤ 環境に関する情報の発信

- 評価できる点として、多様な媒体を使っての情報発信ができていているという意見が多く出されている。
- 特に広報紙やチラシといった、紙ベースのものが残されていることを評価する声がある。
- 一方、LINEなどのSNSを上手く取り入れ活用できているという声もあり、いろいろな新しいツールを取り入れつつ、従来の方法も残しながら情報発信ができていている点が評価されている。
- 検討すべき課題として、施策指標に着目した意見がある。「ちがさきエコネット」のアクセス数が増加しているのに対し、イベント・講座等に関する情報発信回数が減少しているので、「環境情報の充実」に対する「不満」が増えるのではないかと懸念されている。十分な情報発信を実施するような意識や体制づくりが大切で、それを維持していく必要があるという意見である。
- LINEなどのSNSの配信が不定期なので、定期的に配信されるとよいという意見がある。フォロワーとしては、随時、情報が来るのが楽しみにもなるので、情報発信の仕方や頻度を考えていただきたい。
- また、市民団体の活動の支援のため、地域の自治会や企業による支援につながるような、情報発信が必要との意見もある。
- 環境フェアや環境イベントの情報の更なる充実を求める声がある一方で、SNSが苦手な方にも積極的な情報発信が必要との意見もあり、その人が欲しい内容の情報を、その人に合った方法で届くようにするというのが次の課題で、時代に合わせた取り組みがもっと必要なのではないかと感じる。
- 事前評価シートのなかで、情報発信数が減に対して、「ちがさきエコネット」のアクセス数が増加すると、「環境情報の充実」に対する「不満」が増加することが自明という記載があるが、因果関係がよくわからない。
- （事務局）おそらくは、たくさんの方が情報を求めてサイトにアクセスしても、情報発信があまりされていないので、ガッカリして不満に思う人が多くなるのではないかと、ということ懸念されているのではないかと思います。情報発信回数が減っているのは、コロナ禍でイベント自体が減少していたという理由もある。「ちがさきエコネット」に関しては、登録者を増やすため、緑のカーテンの申し込みを、ちがさきエコネット経由にすると当選確率が高くなる仕組みにしたり、何か情報発信をする際には、サイトに誘導するような御案内をすることで、アクセス数が伸びたのではないのかと考えている。
- サイトを見に来て、あまり変わり映えがしないと、また見に来ようと思う人もいるかもしれないが、もう見に来なくなってしまう人もいます。
- （事務局）情報はタイムリーなほうがよいし、定期的な情報発信をという意見もあるので、極力コンスタントな情報発信ができるように進めていきたい。

○環境に関する情報発信は、イベントの案内だけなのか。例えば、セミが鳴き始めましたとか、この緑地でこんな花が咲きましたというような情報も、環境に関する情報なのではないかと思うが、どういった情報がメインなのか。

■（事務局）指標はイベント・講座等に関する情報発信回数としているが、「ちがさきエコネット」や「ちがさきエコスクール」などのポータルサイトでは、事業者や学校の取り組みなども随時紹介しているし、市ホームページでも、イベント情報のほか、温暖化のこととか、自然環境のこととか、環境全般に関して幅広い情報発信を行っている。

○参考データとして、そうした情報発信の内容も少し掲載されているとよいと思う。

3 その他

→事務局より今後の会議の案内を行った。

【第2回自然環境分科会(自然環境団体ヒアリング)】

日 時 令和5年8月10日(木) 9時30分から

場 所 市役所分庁舎5階 特別会議室(WE B会議)

【第3回自然環境分科会】

日 時 令和5年8月10日(木) 14時から

場 所 市役所分庁舎5階 特別会議室(WE B会議)

■配布資料

資料 茅ヶ崎市環境審議会 自然環境分科会 事前評価シート